在京白堊會報

第27号
平成21年10月24日
●
発行
●
在京白堊会
〈事務局〉
〒105-0003 東京都港区
西新橋3-5-2
西新橋第一法規ビル 5F
玉澤健児税理士事務所 内
TEL&FAX.03-3431-5860（直通）
http://www.hakua.sokei.co.jp/index.htm
※事務局は今年7月から上記に移転しました。

白堊芸術祭2009
作品出展者大募集

12月2日(水)～4日(金)、銀座で白堊芸術祭

昨年、白堊芸術鑑賞クラブ（ル・サロン・ブラン）のクラブ活動として開催した白堊芸術祭は反響がたいへん大きかったため、今年から在京白堊会全体の行事として開催することになりました。在京白堊会会員であればどなたでも、どんな作品でも出展できます。

昨年以上の盛会になりますよう、皆さまからの出展をお待ちしております。

なお、初日の2日、同会場において、40年卒 野口田鶴子さんの「宮沢賢治の世界」の朗読会を開催いたします。

昨年の第1回「白堊芸術祭」（銀座 アート・ロベ）

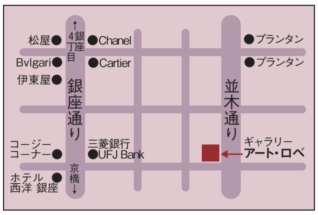
〈作品募集要領〉

●**開催期間**　12月2日(水)～4日(金)、11：00～18：00（最終日は17：00まで）

〈朗読会〉　2日(水)、15時及び17時から各回30分（全て立席で椅子席はありません）

野口田鶴子さん

●**会場**　画廊アート・ロベ（〒104-0061中央区銀座1-5-1第3太陽ビル5階　電話03-3564-3253）



●**募集作品**　ジャンルを問わず（歌、句等は色紙等に書いて、掲示できる体裁にて出展。不明な点は在京白堊会事務局にお問合せ下さい）

●**出展点数**　一人一点

●**出展資格**　在京白堊会員

●**出展申込**　次の事項を明記（様式自由）して11月20日(金)までに在京白堊会事務局へ。①氏名 ②卒業年次 ③連絡先住所及び電話番号 ④出展するジャンル ⑤タイトル ⑥寸法（絵画の場合は号数）

●**出展料**　無料（但し、作品の搬出入及び展示額等、展示に係る費用は全て出展者の負担）

●**搬出入**　12月1日(火)11：00～15：00の間に会場へ搬入または託送し、5日(土)11：00～15：00の間に搬出。（時間厳守）

〈お願い〉撮影の許諾について
出展作品を撮影し、在京白堊会報来春号に作品写真を掲載することを了解された上でお申込み下さい。

この秋冬もクラブ活動などが盛りだくさん

●**11月7日(土)「笠間日動美術館見学」**
（場所：笠間市「白堊芸術鑑賞クラブ（ル・サロン・ブラン）」1面）

●**11月13日(金)「在京白堊会ゴルフ大会」**
（場所：茨城県阿見町「阿見ゴルフクラブ」4面）

●**11月28日(土)「小田原城総構(そうがまえ)見学」**
（場所：小田原市「中世城郭探訪の集い」2面）

●**12月2日(水)～4日(金)「白堊芸術祭」**
（場所：銀座　※12月2日「宮澤賢治朗読会」15:00 17:00　1面）

※ご質問、ご不明な点は事務局（03-3431-5860）までお問い合わせ下さい。

参加者募集

「笠間日動美術館」見学の御案内

第4回ル・サロン・ブラン―平成21年11月7日(土)―

日本でも指折りの展示品の質と量で知られる笠間日動美術館（笠間市）を見学します。

●**開催期間**　11月7日(土)

●**集合**　07：50 上野駅中央改札口付近（改札口内）

●**行程**　上野駅発08：19（常磐線友部駅乗換）笠間駅着10：30。解散15時頃の予定

●**見学先**　笠間日動美術館のほか、時間があれば、笠間稲荷、笠間焼き窯元、笠間城

●**申込**　11月5日(木)までに在京白堊会事務局へ。

●**解説**　三浦千波画伯（S50年卒）が案内をしながら、展示作品の解説をします。

●**参加資格**　在京白堊会非会員の参加も可能です。

●**年会費**　在京白堊会年会費未納の方は、当日、納付することが可能です。

●**その他**　笠間駅に直接集合されても構いませんが、その場合は申込み時にお申し出下さい。（笠間駅集合場所　改札口付近）65歳以上の方は、免許証等、年齢を証明できるものをご持参下さい。

写真は一昨年の大川美術館見学

参加者募集

「小田原城総構」見学の御案内

第7回中世城郭探訪 ― 平成21年11月28日(土) ―

御鐘台から望む小田原市街（目の前の森は中世小田原城の空壕・土塁の跡）

天正18年（1590）、北条氏が20万余の秀吉の軍勢を迎え撃った時、当時の小田原城は日本最大の城郭であり、全長12キロにも及ぶ総構（壕と土塁等で城域全体を防御する施設）で城下町をも取り囲んでいた。北条氏はその堅固な守りで籠城し続け、秀吉勢が退散するのを待つつもりだったが、それを見越した秀吉の前にあえなく瓦解した。

現在、総構は市街地では大半が消滅しているが、小田原駅西側一帯の小高い辺りには国内屈指の巨大な空壕として残っている。壮大な総構の遺構を辿ることで、関東全域を支配して繁栄の頂点にあった時に滅亡した北条氏の栄華を偲ぶ。

○期　日
11月28日(土)
（小雨決行、荒天中止）

○集合場所及び集合時刻
07：45 東京駅東海道線9番ホーム有楽町駅寄りのホーム端（1号車停止位置付近）

○行　動
東京駅発08：03→小田原駅着09：24。15時頃解散の予定
（歩行距離　約7キロ）

○主な見学場所
幸田口門跡、早川口二重戸張跡、小峰の大堀切、御鐘台、小田原城（天守閣、銅門等）

○服　装
軽装（歩きやすい靴でお出で下さい）

○申　込
11月25日(水)までに、在京白堊会事務局へ。

○参加資格
在京白堊会非会員の参加も可能です。

○年会費
在京白堊会年会費未納の方は、当日、納付することが可能です。

○その他
・軽い昼食を持参して下さい。
・小田原駅に直接集合されても構いませんが、その場合は申込み時にお申し出下さい。
（小田原駅集合場所　東西自由通路内の観光案内所前）
・解散後、有志による懇親会を実施します。

〈中世城郭探訪の集い〉活動報告

○平成21年4月11日（土）
「祇園城・鷲城見学」

4月11日(土)、小山市にある祇園城と鷲城の見学会を実施した。小山市中心部は、戦国時代の祇園城から発達し、江戸時代には宿場町・思川による舟運の基点として繁栄した。

小山駅集合後、駅前にある戊辰戦争時に受けた弾痕の残る菩薩像、明治天皇行幸所跡を見てから、のどかな思川沿いに鷲城に向かった。鷲城は、南北朝抗争期に小山氏が鎌倉公方との戦いに籠城したことで知られる城であり、現在も残る深さ十米近い空壕は、その堅固さを如実に表していた。

鷲城空壕（からぼり）内を歩く

鷲城見学の後、藤原秀郷勧進の須賀神社を参拝してから、祇園城に向かった。城内の一部である小山市役所敷地内には小山評定の碑がある。小山評定は関が原の戦いに至る過程で重要なエポックメーキングとして知られている。

鷲城内にて桜吹雪にみとれる

上杉景勝との対決のために北上していた家康が祇園城に着いたとき、石田三成蜂起の知らせが入った。ここでの評定の結果、家康は豊臣大名の与力を確信して反転し、江戸城に戻って関ヶ原の戦いへと繋がることになる。この故事に由来して、ここに小山御殿が築かれ、将軍の日光参詣の折に宿所として使用された。

祇園城は、現在は公園として整備されており、折からの花見の季節と重なって園内は市民で満ち溢れていた。今回の見学は春真っ盛りのなかでの散策で、色とりどりの花が咲き乱れる道を通り、時折風に舞う桜吹雪に見とれることが何度かあって、素晴らしい一日となった。

春真っ盛りでの散策を楽しむ

活動報告

講演と料理でくつろぎのひと時

第5回 白堊レディス会 ― 平成21年6月27日(土) ―

第5回在京白堊レディス会が6月27日(土)、銀座の「SUN-mi（サンミ）高松」において開催されました。幹事は昭和32年度卒業生。出席者は38名でした。そのうち11人が幹事年度の方。盛岡からは講師の平賀圭子さんともうお一人が参加されました。

講演中の平賀圭子さん

司会は塚田縫子さんで、「もりおか女性センター理事長」平賀圭子さんの「日本の女性の現状と課題」という演題で始まった講演は、「女性であるというだけでの不平等な扱いの時代・女性の能力の活用・介護問題」等。持ち時間の50分があっという間に過ぎてしまうほど、興味深く共感に溢れたものでした。

講演終了後、集合写真を撮っていただきました。

会場は、幹事年度の方々が毎年集っている場所とのことで、「マグロのタルタル風」で始まったお料理は大変おいしいものでした。

来年は、昭和33年度の皆様が幹事となって、6月26日(土)に、今年と同じ会場で開催の予定です。

活動報告

ピアノ伴奏で合唱や独唱を楽しむ

第2回「歌の祭り」 ― 平成21年8月5日(水) ―

第2回在京白堊会「歌の祭り」が8月5日(水) 12時から昨年と同様に品川区中延の洋風居酒屋ボナペティを借り切って開催されました。

今年は、会報に予告記事を掲載していただいたこともあり、22年卒から54年卒まで参加年次が広がり、前年比8名増の24名が参加し、盛会でした。

ピアノ伴奏での合唱や独唱を楽しみ、そして健康増進とコミュニケーションを深めることが目的の会であり、昼食をとりながらの自己紹介、近況報告を皮切りに、昭和54年卒石原真さん（東京芸大作曲科卒）が一高在学中にご自身で編曲した校歌を混声四部合唱で指導し、盛り上がりました。これを手始めに、「はるかな友に」や啄木の短歌「やわらかに」、「不来方の」（いずれも高田三郎作曲）の合唱へ進み、独唱では、10名を超す発表者がシューベルトの歌曲やオペラのアリア、カンツォーネ、シャンソンの数々を各人3曲ずつ披露し、楽しみました。

ピアノ伴奏で歌を楽しむ「歌の祭り」

なかでも、今回最高齢の昭和22年卒坂田純治さんのシャンソン「ロマンス」には、さすがにシャンソンを長年研鑽されただけに、声の良さと表現に皆が感動しました。

正午から5時までの5時間があっという間に過ぎ、来年の再会を約して散会しました。

今回の会費は、アルコールの方6,000円、ノンアルコールの方5,000円でした。

なお、「歌の祭り」がクラブ活動の一つとして正式に承認されました。来年も同じ所で開催の予定ですので、歌の好きな方のご参加を願っております。

〈問い合わせ・連絡先〉
早坂光平 TEL/FAX03-3932-2725
〒175-0082 東京都板橋区高島平8-27-11-207

TOPICS

盛岡一高でも教鞭をとった佐々木七恵さんの「お別れ会」

1984年ロス五輪女子マラソン日本代表の永田（旧姓・佐々木）七恵さんが6月27日亡くなられ（享年54歳）、その「お別れ会」が9月8日、港区芝公園のメルパルク東京で行われました。大船渡市出身で、盛岡一高教諭を経て国際舞台で活躍されました。

（32年卒・外山浩子）

「お別れ会」で配られたクオ・カードには、83年の東京国際女子マラソン優勝の写真が。

参加者募集

第7回在京白堊会ゴルフ大会
平成21年11月13日㊎開催

在京白堊会の秋の恒例行事となったゴルフ大会は、会を重ねるごとに盛会になっています。個人参加、年次でのチーム参加のいずれでも大歓迎です。奮って御申込み下さい。

〈開催要領〉

- ●**期日**　平成21年11月13日㊎
- ●**会場**　阿見ゴルフクラブ　茨城県稲敷郡阿見町大字上条1760-1　電話029-889-3636
- ●**スタート**　OUT・INとも08：37から各6組（募集締切後、参加者に組合せ・スタート順等を郵送）
- ●**集合時間**　08：00（時間厳守）
- ●**募集定員**　48名

昨年の参加者

- ●**参加資格**　在京白堊会員
- ●**会費**　5，000円（懇親会飲料代、賞品代ほか）
- ●**プレー費**　15，800円　各自で精算（昼食代及び懇親会オードブル代を含む）
- ●**プレー**　18ホールズ・ストロークプレー。ハンディはダブルペリア方式で算出。同ネットは卒業年次上位。
- ●**対抗戦**　卒業年次別対抗戦として行う。1チーム4名の上位3名の合計スコアで順位決定。（なお、対抗戦は3名以上参加の年次のみノミネート可。2名以下で参加の年次は個人戦のみの参加とする）
- ●**表彰**　年次対抗戦団体優勝、個人戦優勝ほか賞品多数。
- ●**申込み**　個人、チーム自由。但し、卒業年次単位一チーム4名の一括申込みを歓迎。次の事項を明記（様式自由）して11月4日㈬までに在京白堊会事務局へ。
①氏名　②卒業年次　③連絡先住所及び電話番号　④チームの場合は代表者氏名　⑤送迎バスの利用の有無。（先着順に受付け、定員になり次第締切）
- ●**送迎バス**　東京駅会場間の往復送迎バス（有料　往復3千円、片道1，500円）
集合06：15東京駅八重洲口第二鉄鋼ビル前（時間厳守）
東京駅発06：30
- ●**年会費**　在京白堊会年会費未納の方は、当日、納付することが可能です。

TOPICS

一高・福高でエール交歓
遊座昭吾先生最終講義

4月26日、遊座昭吾先生の最終講義「北天の詩想～啄木・賢治のまなざし～」が盛岡一高、福岡高校等、先生の教え子の共催で都内のホテルで開催されました。192名の出席者のうち100名が一高、77名が福高OBで、講義のあとの懇親会では両校による校歌とエール交歓が行われました。「こんな楽しいイベントは初めて！」と、福高はじめ参加者一同、大感激の一日でした。

遊座昭吾先生最終講義での校歌、エール交歓風景（手前が福高側）

白堊五行歌会

白堊五行歌会は、毎月第1金曜日午後6時30分から秋葉原で歌会を行っています。参加をご希望の方は03-3269-3420（42年卒・白堊五行歌会代表・山田）までお気軽にご連絡ください。メールsakuraco@leaf.ocn.ne.jp可。

叩かれて
叩かれて
強靭くなる
これが南部の男の
鉄学だ
山田武秋（42年卒）

凡人は
悩み事が絶えない
達人は
悩みを包みこみ
良き友とする
伊奈　裕（38年卒）

色づき始めた
木の葉をたたく
秋雨を
楽しみながら
仕事場に急ぐ
だいてんち（36年卒）

両手をそろえて
カードを渡す
国会図書館員
ハッとしてわたしも
両手で受け取る
八十若（22年卒）

※2009年4月～10月までの作品から抜粋。作者名はペンネームもあります。

編集後記

今夏は高校野球の話題一色でした。母校盛岡一高が夏の高校野球岩手県大会で16年ぶりに決勝進出を果たしたからです。決勝の相手は春のセンバツで準優勝し、メジャーも注目するあの菊池雄星投手の花巻東。2対1という惜敗での準優勝でした。

しかし、現在、盛岡一高野球部には有力な新戦力が着々と集まっており「実は来年、再来年がさらに楽しみ」とは、某野球部ウォッチャーの弁です。

ちなみに今夏、花巻東が甲子園でユニフォームの右袖につけていた「花巻」の文字は、盛岡一高27年卒の書道家、浅沼一道氏の揮毫によるもの。監督より依頼があったそうです。つまり今年、一高の「右腕」は早くも甲子園デビュー（？）していたのです！来年、再来年はチームが甲子園に行く番です。

それにしても、東京にいながらにして球場からOBが携帯でネットにアップしてくれる速報で、ほぼリアルタイムで試合経過を知ることができるなど、便利な世の中になりました。これからもますます、野球から目が離せません。

今春、関東遠征にやってきた盛岡一高野球部を約20人の在京白堊会OBが応援。（写真は3月28日[土]、千葉明徳高校グラウンドで行われた日体大荏原、千葉明徳戦。関東の強豪相手に互角以上の戦いで、夏の活躍を予感させる好試合だった）

お願い

会費未納の方は、同封の振替用紙で年会費二，〇〇〇円をお振込み願います。なお、振込みは窓口でなく、極力ATMにてお願いいたします。

2009年総会報告

近年では最多の277名が集う

第41回総会

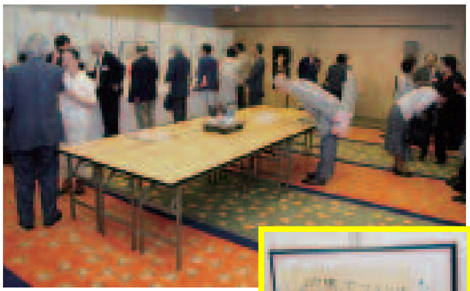
5月9日(土) 東京グリーンパレス

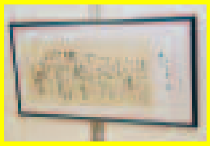
岩手から千葉校長らも駆けつけて（写真右・挨拶をする白堊同窓会 安達会長）

第41回在京白堊会総会は、平成21年5月9日(土)、麹町の東京グリーンパレスにて開催されました。昨年、一昨年の総会の評判が良かったお陰で、4月末で250名を越す参加希望があり、会場のキャパシティを鑑み、嬉しさを抑え、即座に同期の動員を抑制いたしました。

そして当日は、晴天の下277名の皆様をお迎えすることができました。ご来賓は、盛岡より、千葉研二盛岡一高校長、安達孝一白堊同窓会会長、一戸秀光硬式野球部後援会会長、恩師の那須光吉先生、安藤厚先生、近江昭先生。鏡開きに用いた「菊の司」は、同社会長が大先輩であり、大いにサービスしていただき、当会の日本酒党は大いに盛り上がりました。

本年私ども52年卒は『白堊の絆』をテーマとして掲げました。これに即して、お宝資料満載の「舟越保武・伊藤馨一彫刻小品展」、同窓生の著作・傑作等をプレゼントする「お愉しみ抽選会」、そして33年前の文化祭出品作のスライドショーを企画し、多くの皆さまに笑いと、お土産をお持ち帰りいただくことができました。今回特筆すべきは、平成卒の若い参加者が多かったことです。





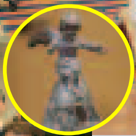
舟越保武氏に師事した52年卒伊藤馨一さんの「白堊の絆・彫刻小品展」では、舟越保武氏の貴重な自筆手紙も公開された。

総会は50代からのものではありません。若かろうと、積極的な参加であれば、白堊魂を通じ、世代を越えて楽しむことができると断言いたします。今、53年卒の皆さんへバトンを渡すことができ、ほっとしつつ、思いはすでに次回の総会にあります。

皆様、来年も麹町に集い、校歌を高らかに謳おうではありませんか！

（52年卒幹事団一同）

（写真上）お出迎えは52年卒幹事の皆さん。
（写真左）恒例の鏡開き。左から在京白堊会・馬場 信会長、盛岡一高・千葉研二校長、最高齢出席者S12卒・佐藤吉平さん、在京白堊会顧問・及川昭吾さん。



盛り上がった「お愉しみ抽選会」。目玉の伊藤馨一さんのブロンズ彫刻「清しき家」（円内）をゲットしたのは42年卒・佐藤克典さん（写真左）

高らかに校歌蛮唱（写真上）。「白堊應援團30」管理人 星氏も華麗なエールを披露（写真左）

来年に向け抱負を語る53年卒次期幹事の皆さん。

S39年卒まで

S40～49年卒

S50年卒以降

S52年卒幹事団